

稚内市北防波堤ドーム関係者出張講義の開催



稚内北星学園大学 地域観光支援室

はじめに

去る11月27日本学1401教室において、国土交通省北海道開発局稚内開発建設部築港課港湾計画官の菅原慎也氏をお招きし講義を開催しました。

これまでの活動経緯と成果

本学COC事業において、本年度よりプロジェクトンマッピングによる観光振興支援を行うことを予定しております。また、観光協会との共同事業においてもまち歩きガイド事業を立ち上げるなど、産学連携での稚内観光の支援が本格化しているところです。

そのような中、稚内市の観光にとって重要な観光資源である「北防波堤ドーム」について改めてその価値を見つめ直す取り組みを行っています。今般、管理担当者の目線からのお話を伺うことにより、新たな面の発掘と、北海道開発局と学生との協力関係を構築する狙いで、出前講義を開催する運びとなりました。

この度はプロジェクトンマッピングの制作を進める広告制作論と、まち歩きガイド事業などを研究する北海道観光経済論の学生が講義を受け、現場の声を伺うことができ多めに勉強になりました。

講座の概要

- 1 講座名 「港湾の役割について」
- 2 実施日時 平成26年11月27日 (木)
14時30分～16時00分
- 3 場所 稚内北星学園大学 1401教室
- 5 講師 稚内開発建設部 築港課
港湾計画官 菅原 慎也 氏



今後の展望

プロジェクトンマッピングは、(株)まちづくり稚内と本学のコラボレーション企画「クリスマスエキシビション」(11月30日～12月25日の日程でキタカラにて開催)において「クリスマスプロジェクトン・アート」と題した本学学生制作のクリスマス・ビデオアートをアトリウム天井に投影するほか、稚内港まちづくり懇談会主催「彩北わっキャナイト2015」(2015年2月に北海道遺産・北防波堤ドームにて開催)において上映する予定です。

また、北防波堤ドームなどを案内するまち歩きガイド事業については、観光協会との共同事業として展開中。専属ガイド1名が視察対応などを行い、旅行会社等との商品化がなされています。

